

# 釜石の2小中へ

## 図書カード寄贈

盛岡の支援団体

東日本大震災被災地の子

どもの支援に取り組む盛岡

市のブック・エンド・ドリ  
ーム・プロジェクト（紺野  
代表）は27日、釜石市鵜

図書カードを贈った。

紺野代表（62）と事務局の

三浦満春さん（59）、釜石市

のはまと神経内科クリニック院長、浜登文寿さん（55）

の3人が訪問。鵜住居小では紺野代表が活動内容を説

明し、中軽米校長に10万円分の図書カードを手渡し

た。

ラグビーワールドカップ

（W杯）前哨戦として釜石

鵜住居復興スタジアムで日本代表戦が行われた7月27

日とW杯が開催された9月

25日に、同市鵜住居町のい

のちをつなぐ未来館で募つた寄付を充てた。

仮設校舎で学ぶ子どもたちへの支援として、2011年4月に大槌小・中（現

図書カードを手にする紺野

衆代表（右から2人目）と中軽米利夫校長（同3人目）

# 東日本大震災



大槌学園）に初めて図書カードを寄贈し、活動を継続している。紺野代表は「本は人生を変える。子どもたちには良い影響のある本を読んでほしい」と願う。

住居町の鵜住居小（中軽米

利夫校長、児童158人）と

釜石東中（米慎司校長、生徒98人）に計20万円分の